



動詞接頭辞

動詞の前に接続して、動詞に意味を加えたり、意味を変化させたりする要素があります。これを動詞接頭辞と呼びます。接頭辞はどの動詞にも自由に接続するのではなく、特定の動詞と結びついてひとつの語を形成し、固有の意味を表わします。以下では、便宜上、接頭辞を太字で示します。

移動の方向を表わす

megy	行く
felmegy	登る
lemegy	降りる
bemegy	入る
kimegy	出る
átmegy	渡る、横切る
visszamegy	戻る
hazamegy	家へ帰る
elmegy	出かける

Felszáll a villamosra.	路面電車に乗る。
Leszáll a villamosról.	路面電車を降りる。
Beszáll a kocsiba.	車に乗る。
Kiszáll a kocsiból.	車を降りる。
Átszáll a villamosra.	路面電車に乗りかえる。

上の文の名詞についている接尾辞にも注意しましょう。

fel は -ra, -ről 「～の(上)へ」に、
le は -ról, -ről 「～の(上)から」に、
be は -ba, -be 「～の(中)へ」に、
ki は -ból, -ből 「～の(中)から」に対応しています。

動作の完了を表わす

接頭辞の **meg-** あるいは **el-** がつくと、「～してしまう」「～してみる」といった完了の意味を表わします。具体的な1回の動作を表わすので、定冠詞のついた目的語とともに用いられることが多いです。

Tanulok. 私は勉強しています。
Ma **meg**tanulom az új szavakat.
今日私は新しい単語を(勉強して)おぼえてしまいます。

Tévét nézek. 私はテレビを見ています。
Megnézem ezt a filmet. 私はこの映画を見ます。

Levelet olvasok. 私は手紙を読んでいます。
Elolvasom a levelet. 私は手紙を読んでしまいます。

状態動詞を動作動詞にかえる

接頭辞の **meg-** がつくと、「～している」という状態動詞を「～する」という動作動詞にかえます。

Áll a vonat. 列車が止まっている。
Megáll a vonat. 列車が止まる。

接頭辞と語順

接頭辞は次のように、動詞と分離して、前方や後方へ移動することがあります。文中にフォーカス(否定句、疑問詞句、強調される要素)がある場合には、その直後に動詞がくるという語順の規則があります。この規則にしたがい、フォーカスがある場合には、接頭辞はフォーカスに追い出されるようにして動詞の後方へ移動します。下の例文の太字部分がフォーカスです。フォーカスの部分には、強いストレスがおかれます。フォーカスがない文を中立文と呼ぶことにします。

Éva visszajön. エーヴァは戻ってきます。(中立文)
Ki jön vissza? 誰が戻ってきますか?
—Éva jön vissza. エーヴァが戻ってきます。
Mikor jön vissza? いつ戻ってきますか?
—Holnap jön vissza. 明日戻ってきます。
Éva **nem** jön vissza. エーヴァは戻ってきません。
Nem Éva jön vissza. 戻ってくるのはエーヴァではありません。

接頭辞がついた動詞の不定形が、kell, lehet などの動詞とともに用いられるときは、接頭辞と不定形が分離して、<接頭辞 + kell, lehet などの動詞 + 不定形>が中立文の語順になります。

Vissza kell menni. 戻らなければならない。
Itt át lehet szállni a metróra.
ここで地下鉄に乗りかえることができます。

フォーカス(太字部分)がある場合には、フォーカスの直後に動詞がきますので、接頭辞はまたもや追い出されるように移動し、不定形の前の元の位置にもどります。

Nem kell visszamenni. 戻らなくてもよい。
Hova kell visszamenni? どこへ戻らなくてはなりませんか?
Tokióba kell visszamenni. 東京へもどらなくてはならない。

接頭辞と疑問文

接頭辞のついた動詞の疑問文に肯定で答えるときには、接頭辞だけで答えることができます。

Visszajössz? 君は戻ってきますか?
—Igen. / Vissza./ Igen, vissza. はい、戻ってきます。